

知的障害特別支援学級 生活単元学習指導案

1 単元名 秋をたのしもう

2 単元の見積

- 秋の自然と触れ合うことを通して、秋を実感するとともに自然に親しもうとする態度を育てる。
- 作品を構想し、完成させることを通して、ものを作ることのよさや楽しさを経験する。
- 様々な材料や道具を工夫して使い、製作することができるようになる。

3 単元について

本学級は、4名の児童が在籍している。A、Bは、今年度より入級したばかりであるが、学級の雰囲気慣れ、毎日生き生きと生活している。Cは感情が抑えられず不安定な面もあったが、2名の下級生の入級により上級生としての自覚が芽生え、思いやりの心が育ってきた。Dは学級のリーダーとしての自覚が芽生えてきており、様々な場面で下級生を気遣う様子が見られる。皆、製作することは好きだが、発想力に乏しく技能も未熟であるため、自分の思いを形にすることは難しい。

本単元では、普段何気なく過ごしてきた季節の移り変わりに目を向け、多様な学習内容を取り入れながら自然に親しんだ生活の創造をねらっている。秋は、五感で具体的な変化を理解しやすく、「○○の秋」というテーマで様々なことに挑戦できる季節である。そこで、単元の最後に美術館を開くという目標を設定した。自分の思う「秋」を思い思いに表現しながら、皆で協力して目標に向かった製作に取り組ませていきたい。また、図画工作科や自立活動に関連した内容では、おもちゃや飾りを作り、みんなで遊ぶという目的から、道具の使い方や手指の動きの機能を高めるのに適していると思われる。

指導にあたっては、秋の自然に触れることで、季節の様子や変化を五感を使って感じ取らせた。それが自然の中での活動を通し、環境に目を向け、自然愛護の心を育むことにつながると考える。そして、本を読んだり数量を数えたり歌を歌ったりといった各教科の学習を取り入れながらおもちゃや飾りを作ることで、豊かな発想力や製作の技能の向上を図り、創意工夫することでよりよく生活を楽しむことができることに気付かせたい。また、支援員とも連携をとり、要所所で適切な援助、見守りができるように心掛けたい。

4 児童の実態と個別目標

	実 態	個 別 目 標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心旺盛で何にでも挑戦するが、困難な時に諦めるのも早い。 ・切ったり貼ったりする作業に抵抗はないが、技術は未熟である。 ・自然や生き物にそれほど興味はない。 ・大まかな形の模写や色塗りは、手順の助言があれば自力でできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやること分り、協力して楽しく活動できる。【3-(3)】 ・安全に気をつけて道具を使うことができる。【5-(5)】 ・自分の考えや気持ちを、言い方を教えてもらいながら言うことができる。【6-(3)】
B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現することが苦手で、困ったときに黙ってばかりが多い。 ・切ったり貼ったりする作業は好きで、進んで取り組む。左利きである。 ・自然や生き物の中では、果物への興味があり、進んで見たり絵を描いたりしている。 ・大まかな形の模写や色塗りは自力でできるが、かなり未熟で雑である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやること分り、楽しく活動できる。【3-(3)】 ・教師や支援員の支援のもと、安全に気をつけて道具を使うことができる。【5-(5)】 ・自分の考えや気持ちを、言い方を教えてもらったりいくつかの選択肢から選んだりして伝えることができる。【6-(3)】
C	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい性格で、思いやりのある言動がよく見られる。友達と積極的に関わろうとする。 ・理科や社会の学習が好きで、自然や生き物の変化や不思議な事象に興味をもっている。 ・切ったり貼ったりする作業は好きだが丁寧にゆっくりと取り組むことは難しい。左利きである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやること分り、協力して楽しく活動できる。【3-(3)】 ・道具を適切に使用することができる。【5-(5)】 ・自分の考えや気持ちを、進んで言うことができる。【6-(3)】
D	<ul style="list-style-type: none"> ・口数は少ないが、友達に優しく、困っている友達をそっと手助けすることができる。 ・自分の考えを表現することが苦手である。 ・手先を使う作業が好きで、黙々と集中して活動することができる。仕上がりも丁寧である。 ・自然や生き物に興味があり、普段から草花や動物などを絵を描いたり紙で作ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやること分り、友達と助け合いながら創意工夫して活動することができる。【3-(3)】 ・道具を適切に使用することができる。【5-(5)】 ・自分の考えや気持ちを、自分の言葉ではっきりと伝えることができる。【6-(3)】

5 指導計画と評価 (25時間扱い)

第1次 秋をかんじよう・・・・・・・・・・2時間

第2次 わたしだけの「秋」をつくろう・・・・・・・・15時間

時	主な学習内容・活動	評 価			
		A	B	C	D
1	1 秋を感じながら校庭を歩き、落ち葉や枝、木の実などを拾い集める。	・秋の自然に触れ、色や感触などを楽しむことができる。【4-(4)】 ・拾った秋の自然を分類したり、数を数えたりできる。【5-(3)】	・秋の自然に触れ、色や感触などを楽しむことができる。【4-(4)】 ・拾った秋の自然を分類したり、数を数えたりできる。【5-(3)】	・秋の自然に触れ、季節を感じるができる。【4-(4)】 ・秋の自然を、必要性の高いものを分別して集めることができる。【4-(5)】	・秋の自然に触れ、季節の移り変わりを感じるができる。【4-(4)】 ・秋の自然を、必要性の高いものを分別して集めることができる。【4-(5)】
2	1 写真、スケッチ、紹介文等を使って、学校秋マップを作る。	・皆に紹介したい場所を選ぶことができる。【4-(1)】 ・自分にできる方法で、文字や絵を描いたり貼ったりして地図を作ることができる。【5-(5)】 ・皆に紹介したい場所を簡単な文章で表現することができる。【6-(3)】	・皆に紹介したい場所を選ぶことができる。【4-(1)】 ・絵や写真を正しく地図に貼ることができる。【5-(5)】 ・相手に伝わるように説明や紹介をすることができる。【6-(3)】	・秋の自然に関心をもち、本や図鑑で調べることができる。【4-(3)】 ・自分にできる方法で、文字や絵を描いたり貼ったりして地図を作ることができる。【5-(5)】 ・説明や紹介をするときに使う言葉が分かる。【6-(3)】	・秋の自然に関心をもち、様々な手段で調べることができる。【4-(3)】 ・皆に紹介したい場所と紹介する手段を選び、地図を作ることができる。【5-(5)】 ・説明や紹介をするときに使う言葉が分かる。【6-(3)】
本時 3	1 おもちゃや飾りを製作し、遊び合う。	・秋の自然に触れ、自分の思いを取り入れた作品を作ることができる。【4-(1)】 ・道具を適切に使うことができる。【5-(5)】 ・説明をよく聞いて作業をすることができる。【3-(4)】 ・困ったとき、周りの人に簡単な言葉で助けを求めることができる。【6-(3)】	・秋の自然に触れ、自分の思いを取り入れた作品を作ることができる。【4-(1)】 ・力加減に気をつけてながら道具を使うことができる。【5-(5)】 ・友達と仲良く作業をすることができる。【3-(4)】 ・困ったとき、周りの人に簡単な言葉で助けを求めることができる。【6-(3)】	・道具を適切に使い、思いや願いを自分なりに作品に表現することができる。【4-(1)】 ・友達と助け合って作業をすることができる。【3-(4)】 ・困ったとき、周りの人に自分の言葉で助けを求めることができる。【6-(3)】	・道具を適切に使い、季節の自然の特徴を生かして表現したいことを表すことができる。【4-(1)】 ・高学年としての自覚をもち、下級生を助けながら作業をすることができる。【3-(3)】 ・困ったとき、周りの人に適切な言葉で助けを求めることができる。【6-(3)】

第3次 秋のびじゅつかんをひらこう・・・・・・・・8時間

6 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

○秋の季節を意識しながら、自分だけのおもちゃや飾りを作ることができる。【4-(1)】

イ 個別目標

A：○秋の自然に触れ、自分の思いを取り入れた作品を作ることができる。【4-(1)】

B：○秋の自然に触れ、自分の思いを取り入れた作品を作ることができる。【4-(1)】

C：○秋の自然の特徴を生かし、自分の思いを取り入れた作品を作ることができる。【4-(1)】

D：○秋の自然の特徴を生かし、遊び方や展示の仕方を工夫して作品を作ることができる。【4-(1)】

(2) 準備・資料

はさみ、のり、千枚通し、木工用ボンド、接着剤、両面テープ、セロテープ、紐、折り紙、色画用紙、落ち葉や枝などの秋の自然、装飾用品、参考図書

(3) 展開

配時	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価				
		全体	個別支援			
			A	B	C	D
5 ↓ ↑ 3 ↓ ↑ 3 0 ↓ ↑ 5 ↓ ↑ 2	1 始めのあいさつをする。 ・グーパー体操 ・秋の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・グーパー体操により、緊張感を取り除きリラックスさせる。 ・秋の歌を歌うことで、制作への期待を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体のバラバラの崩れや、支えにくいところを、支援員と協力して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことへの意欲を高め、元気に褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が良くなるように褒める。 ・あいきの練習を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の手を、本元動かす。
	2 本時の学習内容を知る。 秋のおもちゃやかざりをつくろう！	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で課題を読むよう促す。 ・本時の活動を確認し、見通しをもたせるとともに、期待感を高める。 ・活動中の注意点やめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の傍に、説明を静かに聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が聞き取れない場合は、声を大きくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明に、質問をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が聞き取れない場合は、声を大きくする。
	3 製作を始める。 (1)使いたい材料を選び、計画カードに沿った作品を作る。 (2)早く作り終わったら、試したり改良したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・和やかな雰囲気の中で楽しく活動できるように設定する。 ・安全に用具を使うように声をかける。 ・困ったら周りの人に助けを求めよう。 ・児童一人一人の進捗を見ながら、必要に応じて支援員が働きかけるようにする。 ・作るもののイメージが乏しい児童には、本や写真を参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の使い方や、配りや掛自業を見守る。 ・活動を楽しむように声をかける。 ・関係性を築くように声をかける。 ・作品が良くなるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の進捗を確認し、必要に応じて支援員が働きかけるようにする。 ・新しいアイデアや工夫を、積極的に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の使い方や、配りや掛自業を見守る。 ・活動を楽しむように声をかける。 ・関係性を築くように声をかける。 ・作品が良くなるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の進捗を確認し、必要に応じて支援員が働きかけるようにする。 ・新しいアイデアや工夫を、積極的に発表させる。
	4 後片付けを行い、本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や用具を丁寧に扱い、協力して片付ける。 ・個々のめあてを、教師が評価した後、一人一人の頑張りを賞賛する。 ・次時は制作の続きを行うこと、活動のつながりを今つなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事や気持ちなど、具体的な話を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で発言が場を盛り上げるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口を開いて話をする。 ・最後まで話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で発表する。 ・友達への声かけを促す。
	5 次時の活動を知り、終わりのあいさつをする。		<ul style="list-style-type: none"> ・元気があいきる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気があいきる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が良くなるように褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。